

<http://park11.wakwak.com/~fma/iren/index.html>

第27回 参議院議員通常選挙

市医連推薦候補W当選

福岡市医連ニュース

福岡市医師連盟

福岡市早良区
百道浜1-6-9委員長
菊池 仁志

当選

全国比例区



かまやちさとし氏

福岡県選挙区



松山 まさじ氏

今回の選挙戦を振り返る

7月3日に公示された今回の参議院議員通常選挙は、昨年10月の衆議院議員総選挙で自民党が議席を大幅に減らし少数与党となり、事実上の政権選択選挙として、7月20日の投票日を迎えた。結果は自民党が今回改選125議席中、47議席の獲得に止まり、またしても単独での過半数に届かず、今後の政権運営に暗雲立ち込める状況となった。

本連盟推薦候補のかまやちさとし氏(全国比例区・自民)は、自民党獲得議席12議席中8位、医療・介護関係候補者7名中トップ当選を果たし、また比例区候補者の福岡県内得票数では自民党でトップとなり、医療界の代表としての存在感を改めて示したといえる。同じく推薦候補の松山まさじ氏(福岡県選挙区・自民)は、自民党への逆風をものにする受け、2位に3万8千票差と僅差での当選となった。(裏面「開票結果」参照)

今回の参院選は、米国トランプ大統領の関税政策やコメの価格高騰問題など国民生活が不安定な中、物価高対策と消費税をはじめとする減税政策などが争点となった。

全国的に投票率は前回選挙より上回っており、福岡県の投票率は55.66%で、3年前の48.76%を6.9ポイント大きく上回り、関心の高さが伺えた。また、女性候補の当選者は42人となり過去最多となった。

かまやち氏は今回の選挙戦に挑むにあたり、①国民皆保険制度による優れた医療・介護体制の堅持、②感染症対策およびワクチン接種の推進、③高齢者医療をはじめとする地域医療・介護の充実および災害に強い街づくりの推進、④かかりつけ医機能を推進し、医療・介護現場の声を行政に届けること等を掲げ、「優れた医療・介護を全ての人のために、次世代へ」をキャッチフレーズに選挙戦を戦い抜いた。本連盟においても、日本医師連盟・福岡県医師連盟が推薦を決定したことを受けて、早い段階より支援活動を開始した。

松山氏は、今回13人の立候補となった福岡選挙区に

において、自民党参議院幹事長としての実績や、経済、子育て、農林水産、社会保障、防災・減災・国土強靱化等の地方創生、外交安全保障、憲法改正の7つの政策指針を掲げ、政府の物価高騰対策などを前面にアピールし、自民党支持層を着実に固めたが、自民党への逆風や新興政党の台頭もあり、かろうじてトップ当選での5選となった。

今回の参院選の結果により、衆参両院で自・公政権は過半数割れとなり、石破首相が自ら称する「比較第一党」となった自民党は更なる窮地に立たされることとなった。今後も自身の進退とともに、物価高騰対策など山積する諸問題に対応していくこととなるが、更に厳しい政権運営が予想される。

我々医療界にとっても、物価高騰による医療機関の経営難問題、少子高齢化による医療需要の増加、医師不足と働き方改革の課題、財政圧迫と医療費の増加見通しなど、課題が山積しており、今後も社会保障制度の充実、国民皆保険制度の堅持のため、政策を注視していく必要がある。

<http://park11.wakwak.com/~fma/iren/index.html>

第27回参議院議員通常選挙開票結果

投票率58.52%（前回52.05%）

福岡県選挙区(改選議席3)

	結果	連盟推薦	氏名	届出政党	新現元別	得票数
1	当選	○	松山 政司	自民	現	419,082
2	当選		中田 優子	参政	新	380,592
3	当選		下野 六太	公明	現	320,391
4			川元 健一	国民	新	306,409
5			野田 国義	立憲	現	303,624
6			沖園 理恵	れいわ	新	138,374
7			森 健太郎	保守	新	111,196
以下省略						



松山 まさじ 氏



かまやち さとし 氏

全国比例区(自由民主党：獲得議席12)

	結果	連盟推薦	氏名	新現元別	得票数
1	当選		舞立 昇治	現	特定枠
2	当選		福山 守	新	特定枠
3	当選		犬童 周作	新	482,058
4	当選		山田 太郎	現	381,185
5	当選		見坂 茂範	新	218,072
6	当選		東野 秀樹	新	187,946
7	当選		橋本 聖子	現	176,404
8	当選	○	釜薙 敏	新	174,434
9	当選		有村 治子	現	166,025
10	当選	看	石田 昌宏	現	152,649
11	当選	薬	本田 顕子	現	152,518
12	当選		鈴木 宗男	元	132,633

参議院議員通常選挙
と振り返って

福岡市医師連盟

委員長 菊池 仁志

この度の選挙における皆様方の長期間にわたるご奮闘とご支援に深く感謝申し上げます。

日本医師連盟の組織内候補である「かまやちさとし氏」が、自由民主党の公認候補に決定されたことに伴い、福岡県医師連盟に続き、本連盟も令和7年2月に推薦を機関決定して以来、これまでの間、積極的に支援活動を展開して参りました。

得票数のバロメーターとなるサポーター名簿については、個人情報報に対する国民の意識の高まりもあり、従来どおりの収集が困難な中において、皆様方のご努力により約9千名分もの獲得が出来ました。さらに、ポスターの掲示やLINE登録、支援グッズの配付をはじめ、過日開催されました福岡ブロック総決起大会の際にも多数ご参加をいただきました。多くのご協力のおかげで、改めて御礼申し上げます。言うまでもなく、医療政策や診療報酬等は政治の場

で議論され、その決定権は政府・与党にあります。医療従事者が医療活動に専念できる医療経営・医療環境を整備することは国の責任であり、医療制度をはじめとする国民の健康を守る枠組みやシステム、基本原則がその時々々の経済状況などによって恣意的に政治力学で大きく揺らぐ事は許されません。したがって、我々医療現場に直接関わる者は、常に政治へ参画する姿勢と併せて、地方・国政を問わず議員とのパイプを確保しておくかなければなりません。

この度の選挙で当選された「かまやち氏」・「松山氏」のお二人におかれましては、国民の健康・福祉を最優先とする国民医療の確立に向け、必ずや国政において活躍されるものと確信しております。またそのためには、推薦議員と本連盟との信頼関係を更に強固なものとするのが重要であり、それこそが本連盟に課された使命であり責務であります。

最後になりましたが、国民医療の更なる充実・強化に向け、連盟員の皆様の一層の団結と積極的なご支援・ご協力を賜いますことを心よりお願い申し上げます。